



生成 AI で 成功するための 6 つのステップ

実感できる価値を迅速に引き出すための
ビジネスリーダー向けガイド



目次

生成 AI がもたらす機会の活用	3	ステップ 4: チームをスキルアップする	13
AI、機械学習、生成 AI とは	4	ステップ 5: パイロットプロジェクトから先に進む	16
生成 AI が必要な理由	5	ステップ 6: 効果を測定する	18
生成 AI の導入	6	生成 AI における最大の課題の解決	20
ステップ 1: イノベーションとセキュリティのカルチャーを築く	7	AWS と共に次の一步を踏み出す	21
ステップ 2: データを差別化要因にする	10		
ステップ 3: 対処すべきビジネス上の課題を特定する	11		

生成 AI がもたらす 機会の活用

生成 AI は、最新の画期的テクノロジーとしての存在から、日常業務で実用化されるレベルへと急速に進化しています。あらゆる業界のあらゆる規模の組織が、成長機会の開拓、従業員の生産性向上、プロセス最適化の加速のために生成 AI を活用しています。実際、Gartner は、2026 年までに企業の約 80% が生成 AI アプリケーションをデプロイすると予測しています。¹

強い変革力を持つ生成 AI は、組織のどこに適合するか、またその潜在能力を最大限に活用するにはどうすればよいか、ビジネスリーダーに根本的な問題を突きつけています。生成 AI を成功に導く唯一無二の手引きは存在しないため、一部のビジネスリーダーは、どのように始めたらよいのか、また次はどこに進むべきなのかわからず、傍観を続けています。

Amazon Web Services (AWS) は、数万社にのぼるお客様が生成 AI を活用しながら構築、スケールして価値を提供できるように支援しています。その中で AWS は、あらゆる規模の企業が迅速に、自信を持って安全な生成 AI を導入するための一般的なステップを特定しました。この eBook では、生成 AI でビジネスに有意義な影響をもたらすことができるように、最初の一步を踏み出すところから効果を測定するまでの実証済みのパスについて説明し、実際の事例や AWS のエキスパートから得られたインサイトを紹介します。

生成 AI の経済的影響の可能性

2.6 兆 USD～
4.4 兆 USD

生成 AI が生産性に及ぼす影響は、世界経済に
2.6 兆 USD～4.4 兆 USD の価値をもたらす可能性がある²

AI、機械学習、 生成 AI とは

AI とは、従来は人間の知能を必要としていたタスクを再現するシステムを表す 1 つの方法です。ほぼすべての AI システムは機械学習を使用して構築されています。機械学習は大量のデータを利用して意思決定ロジックを作成および検証し、AI モデルの基礎を形成します。そして、AI アプリケーションがモデルに入力データを送り、モデルは人間のような決定を出力します。機械学習の急速な進歩やデータの大規模な急増、さらには、スケーラブルなコンピューティング能力が簡単に利用可能になったことにより、企業は AI の利用、特に生成 AI の活用を加速できます。

生成 AI とは、対話や物語、画像、動画、音楽など、新しいコンテンツやアイデアを生成できる種類の AI です。多くの AI と同様、生成 AI は、膨大な量のデータで事前トレーニングされた大規模な機械学習モデルを利用しています。このモデルは一般に基盤モデル (FM) と呼ばれます。



生成 AI が必要な理由

生成 AI は、幅広い用途でビジネスに大きな影響を及ぼす可能性を秘めた画期的テクノロジーとして急速に台頭しました。カスタマーエクスペリエンスの強化から従業員の生産性向上、プロセス最適化の加速まで、組織は生成 AI を活用して競争力を高め、新しい価値創造の源を開拓しています。

便宜上、生成 AI の潜在的な影響は次の 3 種類に分類できます。

- 従業員とお客様が情報やアプリケーションにアクセスするための会話型インターフェイスを提供することで、**カスタマーエクスペリエンスが向上する**
- 会話、画像、コード、動画などのコンテンツの作成を支援することで、**従業員の生産性が高まる**
- 大量のドキュメントからインサイトを抽出し、より良い意思決定と知識共有につなげることで、**ビジネスプロセスが最適化する**

さまざまな業界における生成 AI のユースケース

カスタマーエクスペリエンスの向上

- チャットボットと仮想アシスタント
- エージェントアシストと会話分析
- ハイパーパーソナライゼーション

従業員の生産性向上

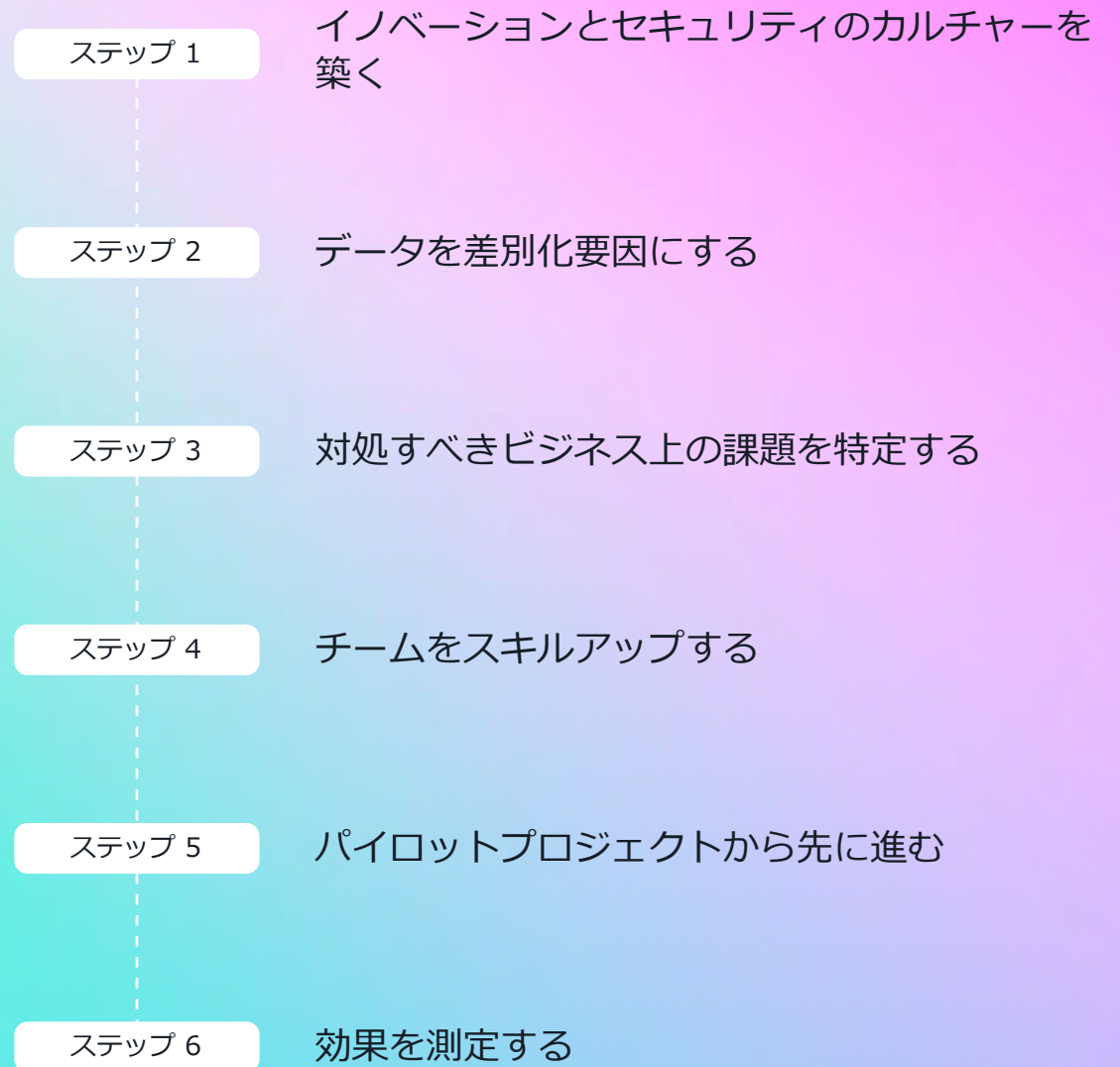
- コーディングアシスタント
- コンテンツの発見
- コンテンツの作成
- 会話型ビジネスインテリジェンス (BI)
- テキスト要約

ビジネスプロセスの最適化

- インテリジェントドキュメント処理 (IDP)
- 不正行為の検出
- サプライチェーン管理
- 本人確認

生成 AI の導入

生成 AI 導入の過程は組織ごとに異なり、必ずしも簡単な道のりではありません。生成 AI を成功裏に導入するには、優れたテクノロジーだけでは不十分です。組織が正しい目標に向かうことも肝心です。これらの目標を特定して達成するには、プロセス、管理、組織文化に大幅な変更が必要になります。次のセクションでは、組織の進歩を妨げる一般的な課題を克服し、効率的かつ持続可能な方法で AI を実装するための適切なステップを踏む方法を詳しく見ていきます。



イノベーションとセキュリティのカルチャーを築く

生成 AI でビジネスの可能性を最大限に引き出すには、チームの組織、目標、展望において企業文化の変化が必要です。

生成 AI を組織全体に普及させるには、ビジネスチームと技術チームの双方が協力し合い、同じ優先事項を共有する必要があります。これを実現するには、最初に生成 AI の取り組みを経営陣がサポートする必要があります。そして経営幹部レベルの推進者が目標を設定し、成功に必要なテクノロジーとプロセスに投資する必要があります。これには、バイアスの特定と軽減、説明可能性の向上、データの非公開と安全性の確保など、最初から責任ある方法で構築を行うための取り組みを支持することが含まれます。生成 AI への取り組みを成功させるには、さらに、セキュリティと責任ある AI の原則を遵守するためのガードレールの構築と、人間によるレビューの多重化の仕組みが必要です。人を中心としたアプローチをとることで、組織は責任ある AI に関する従業員教育に取り組み、多様性のあるチームを作り、より多くの視点を持って、公正さを向上させることができます。

セキュリティを生成 AI イノベーションの推進力にする

セキュリティとプライバシーは最初から取り組む必要があります。強固なセキュリティカルチャーへの投資により、企業は最先端のテクノロジーを安全に、責任ある方法で取り入れることが可能となります。

例えば、金融サービス、ヘルスケア、ライフサイエンスなど規制の厳しい業界は、生成 AI を迅速かつ安全に活用することに最も長けていることが証明されています。厳格なコンプライアンスと広範なセキュリティカルチャーへの継続的な投資により、リスク選好を正確に評価し、統制フレームワークを遵守して、ビジネスで求められるスピードで自信を持ってイノベーションを活用できるようになります。

反復的な実験のマインドセットを取り入れる

経営陣にとって、AI イニシアチブを促進しながら広い視野を持つことは極めて重要です。経営幹部は、明確な目標を設定しつつ、その目標を達成するための組織のアプローチについて常に柔軟である必要があります。新しいテクノロジーの導入に、迷い道や回り道はつきものです。こうした学習機会を活用し、得られたインサイトを適用する企業は、ビジネス全体で革新的なカルチャーを醸成できます。生成 AI で成功するには、継続的な実験が不可欠なのです。

生成 AI の時代に求められる人材をスキルアップする

新しい生成 AI アプリケーションの導入が進む中、企業は効果的かつ責任ある方法で生成 AI を使用方法について、従業員にトレーニングを提供する必要があります。また、企業は適切な使用方法の指針となる明確なポリシーを策定する必要があると同時に、リーダーはリスクを管理しながら生成 AI を用いた実験を奨励する必要があります。

Amazon が生成 AI で ビジネスを変革した事例

Amazon は数十年にわたって AI イノベーションの最前線を走り続けています。Amazon は黎明期のパイオニアとして、ショッピング体験の改革、エンターテインメントの提供、業務の最適化、ビジネス全体のイノベーションの推進に AI を活用してきました。

Amazon は、AWS を活用した生成 AI を使用して、お客様に新しい価値を提供しています。Amazon は創業当初から、AI を活用してお客様のショッピング方法を変革してきました。毎分 8,600 個を超える商品が販売される中、パーソナライズされたレコメンデーションなど AI ドリブンのイノベーションにより、お客様は自分の興味や好みに合った商品を簡単に見つけることができるのです。

Amazon はまた、生成 AI を活用して、お客様と地球のために持続可能なビジネスを構築しています。生成 AI アプリケーションの実行に必要なコンピューティングパワー、データストレージ、ネットワークを最適化することで、Amazon は環境への影響を軽減しています。さらに、Amazon は、お客様が生成 AI アプリケーションをより持続可能なものにするのに役立つツールとガイドラインを作成しています。

ショッピングアシスタントのスマート化から、広告クリエイティブの自動化、医療へのアクセスの合理化など、Amazon は生成 AI を活用してイノベーションを推進しています。



ここではその例の一部をご紹介します。



Amazon は、生成 AI を活用した会話型ショッピングアシスタントである [Amazon Rufus](#) を開発しました。これにより、Amazon ショッピングアプリでの商品の検索、リサーチ、購入が容易になり、最終的にはお客様がより多くの情報に基づいて購入の決定ができるようになります。

amazon ads

[Amazon Ads](#) は、生成 AI を使用して、生き生きとした魅力的な画像を作成することで、広告主やブランドが広告キャンペーンを成功させ、カスタマーディスカバリーエクスペリエンスを向上させるのに役立ちます。

amazon pharmacy

[Amazon Pharmacy](#) は、[Amazon Bedrock](#) と [Amazon SageMaker](#) を使用して処方薬の 99% の価格を事前に見積もり、業務効率を最適化することで、患者が必要な医薬品に迅速にアクセスできるようにするサービスです。

amazon

Amazon は [Project P.I.](#) を通じて、生成 AI とコンピュータビジョンを利用し、損傷した商品がお客様に発送される前に検出しています。また、Amazon は独自の生成 AI アシスタントである [Amazon Q Developer](#) を統合してソフトウェア開発を変革しました。その結果、2 億 6 千万 USD のコスト削減と 4,500 人年分の開発工数削減につながりました。³

amazon music

他にも Amazon は Amazon Music の新機能である [Maestro](#) をリリースしました。これは生成 AI を活用して、リスナーが好みそうな曲のプレイリストを簡単に作成する機能です。

[全文を読む](#) →

2 億 6 千万 USD

Amazon Q Developer を利用することで、Amazon は 2 億 6 千万 USD のコスト削減と、4,500 人年分の開発工数削減を実現しました。³

データを差別化要因にする

機械学習と同様に、生成 AI でもデータは重要な要素です。一般的な大規模言語モデル (LLM) は、ユースケースによっては「そのまま」使用されることがありますが、個別のビジネスニーズに合った生成 AI アプリケーションを構築する場合は、組織のデータが戦略的資産になります。より差別化された、より優れたエクスペリエンスを提供する目的において、汎用の生成 AI アプリケーションと、ビジネスや顧客を真に理解しているアプリケーションとの違いを生むのは、データです。

膨大な量のデータを使用して独自の LLM を構築しトレーニングする企業は一部であり、多くの企業は自社のデータを使用して独自のビジネスニーズに合わせて FM をファインチューニングしたり、検索拡張生成でプロンプトにコンテキストを追加したりしています。例えば、データレイク、データベース、データウェアハウスなどのソースからのデータを使用して、製品のテクニカルサポートを提供するチャットボットや、最も成果の高い広告に基づいてトレーニングされたマーケティングコピーを提供するモデルを作成できます。

そのため、生成 AI で成功を収めるには、関連性のある高品質なデータが必要です。つまり、クラウドにおける強力なデータ戦略が必要なのです。McKinsey Digital は、「... 企業はデータを効果的に連携させ、容易にアクセス可能な方法確立しない限り、生成 AI をファインチューニングすることができず、必然的に革新的なユースケースも開発できない」と述べています。

生成 AI に適したデータ戦略では、データを大規模に保存してクエリを行うための包括的な一連のサービスを採用し、サイロを解消して生成 AI アプリケーションを活用するためのあらゆるデータにすぐにアクセスできるようにし、生成 AI アプリケーション構築のライフサイクル全体を通じてデータを確実に保護、管理します。

AWS では、お客様のデータを使用し、固有のニーズに合わせて FM をカスタマイズおよび拡張し、顧客に独自のエクスペリエンスを提供することが簡単にできます。AWS は、データを保存、処理、管理、保護するための包括的なデータサービスを提供しているため、AI 対応データを使用して生成 AI アプリケーションを強化できます。

[AWS に構築されたデータ基盤](#)が、生成 AI においてどのような戦略的優位性をもたらすかをご確認ください。

「コンテンツのキュレーション、パッケージング、配信の領域で生成 AI には大きな可能性を感じています。パーソナライゼーションが迅速に実現するでしょう。今後の展開が気になりますが、まずはデータ資産の整備から始めます。これには、データガバナンスの側面とデータ管理の技術的な側面の両方が含まれます。この整備がしっかりできれば、可能性は無限だと確信しています」

NFL、Chief Data Analytics Officer、[Paul Ballew](#) 氏

ステップ 3

対処すべきビジネス上の課題を特定する

生成 AI の導入を成功裏に進めるには、そのテクノロジーを「どこ」に「どのように」適用すれば最大の効果が得られるかを見極めておくことが肝要です。つまり、組織に適した生成 AI のユースケースを選ぶ必要があります。そのためには、いくつか検討すべき点があります。

まず、解決が必要な問題を探します。自問してみてください。貴社の成功にとって最も重要な課題は何ですか？ 貴社のビジネスにおいて注意が必要な分野を選びます。一般に、最初のユースケースは、組織の成功、実行可能性、影響力に関連するものであるべきです。

次に、リスクが低く、適切なコストで簡単に導入でき、測定可能な形で投資収益率 (ROI) が迅速に得られるパイロットプロジェクトを選びます。こうしたプロジェクトは多くの場合、社内プロセスや従業員の生産性に重点を置いたユースケースでしょう。価値と ROI を早期に示すことで、組織全体での生成 AI のさらなる活用に勢いをつけ、維持することができます。

AWS は、数万社にのぼる企業が生成 AI で価値を推進する支援をしてきた中で、企業が影響と勢いを増すのに役立つ生成 AI のユースケースの上位 3 つを特定しました。生成 AI のユースケースに関する詳細なガイドランスについては、eBook「[ビジネスの生成 AI ユースケーストップ 3](#)」をご確認ください。

ユースケースについて擦り合わせをしたら、技術エキスパートと特定分野エキスパートの両方を巻き込むことが重要です。技術エキスパートは、ビジネス上の正確な課題を定義し、ソリューションの探索において最も重要なデータを特定するために、特定分野エキスパートの現場知識が必要です。このアプローチは、変革管理にとっても非常に重要です。技術エキスパートと特定分野エキスパートが協力してモデルを作成することにより、従業員はアウトプットに基づいて意思決定を行う際に、より自信を持てるようになります。チーム間で協力して、成否を測定する方法についても話し合う必要があります。

AI イニシアチブの成否の測定方法については、[この eBook のステップ 6](#) を参照してください。





BMW がイノベーションを急ピッチで進めている事例

AI は、長年にわたり、[BMW Group](#) (BMW) の顧客中心のアプローチの重要な要素でした。AI は、車両部品の予知保全やリアルタイムの交通情報の提供から、高度に自動化された自動運転機能の開発まで、BMW の顧客の運転体験を変革しました。

ビジネスの課題

BMW は、この体験を 2,230 万台の車両に拡張できるようにする必要がありました。しかし、450 を超える DevOps チームが 450 以上の AWS アカウントでビジネスクリティカルなアプリケーションを開発していたため、クラウドインフラストラクチャを最適化することが課題でした。BMW は [AWS 生成 AI イノベーションセンター](#) と連携することで、AI の手法に関して豊富な経験を有する AWS の科学と戦略のエキスパートと組織とを結びつけることに成功しました。

ソリューション

In-Console Cloud Assistant (ICCA) は、BMW が [Amazon Bedrock](#) を使用して開発した AI ベースの会話型アシスタントです。これは、自然言語のリクエストを理解し、パフォーマンスのモニタリング、ボトルネックの特定、アカウント全体の改善機会の検出により、BMW が最適化プロセスを加速できるように支援するサービスです。

「AWS でホストされている当社のコネクテッドカーのバックエンドは、2024 年 3 月現在、1 日あたり 143 億件のリクエストと 145 テラバイトのトラフィックを処理しています。AWS のおかげで、当社はほぼ無制限にリアルタイムでスケールできます。接続サービスを利用する顧客の数が増えても需要に応えられるとわかっているため安心です」

BMW Group、Head of Offboard Architecture、Jens Kohl 氏

[全文を読む](#) →

チームをスキルアップする

今日の組織は、生成 AI の時代での成功に向けて、チームが適切なスキルを習得できるための支援にますます力を入れています。対象者には技術的な役職だけでなく、営業、マーケティング、さらには CEO も含まれます。2024 年 KPMG 調査によると、組織の 3 分の 2 以上が生成 AI に関する人材を育成しており、61% が生成 AI への取り組みに新しい人材を積極的に採用しています。⁴

個人が現在の役割におけるイノベーション、効率、創造性を高め、将来 AI の仕事に就くためのトレーニングを受けることができるように、AWS では、[Generative AI Learning Plan for Developers](#) という無料のオンデマンドトレーニングセッションを実施しています。これは、ソフトウェア開発者に生成 AI を紹介することを目的としています。参加者は、生成 AI プロジェクトの計画方法と [Amazon Bedrock](#) の使用を開始する方法を学ぶとともに、生成 AI アプリケーションを構築するためのプロンプトエンジニアリングの基礎とアーキテクチャパターンを確認します。さらに、AWS では、[AWS Skill Builder](#) で最大 14 の言語による 600 を超える無料のオンデマンドクラウドコースを通じて、さまざまな役割向けのトレーニングを提供しています。

AI スキルのギャップに対する万能なソリューションはありませんが、現スタッフの能力を最大限に高めることができる実証済みの方法があります。これにより、訓練された専門家を雇い入れたりその力を借りるために大きな投資をする必要性を減らすことができます。

その方法とは

- **スキルギャップを明確化する：**スキルギャップを埋める前に、組織は、従業員に求めることや望むことと、従業員が現在できることの間にあるギャップを正確に把握する必要があります。AWS では、スキルギャップを特定し、効果的な学習を計画するために、[AWS Learning Needs Analysis](#) を無料で提供しています。
- **スキルのマッピング方法を理解する：**AI イニシアチブは複数の異なる分野にまたがる取り組みであるため、組織は、データサイエンティスト、データエンジニア、ビジネスアナリスト、アプリケーション開発者、統計担当者、およびビジネスのその他の特定領域エキスパートに必要なスキルをマッピングする必要があります。
- **特定のニーズに合わせてトレーニングをカスタマイズする：**ほとんどの組織にはトレーニングプログラムがあります。リーダーは、自社組織に固有の AI 要件を満たすために必要なスキルを特定し、適切なトレーニングを組織のプログラムに追加する必要があります。

3,100 万

AWS は、無料のトレーニングイニシアチブを通じて、200 の国と地域の 3,100 万人を超える受講者がクラウドスキルを習得できるように支援してきました。



生成 AI の問題にうまく対処するために、より一層必要とされるチームの変革

1. 権限委譲のカルチャーを育む

AI プロジェクトチームは部門の垣根を超えて協働できなければなりません。そのためには、個々の目標を実行する権限が与えられ、さらに需要や機会が発生したときに他のチームと有機的に連携する自由が必要です。この種のチームワークを可能にするには、経営陣は新しい体制を採用しなければならないでしょう。厳密に階層化され、部門ごとにサイロ化された過去の組織モデルと決別する必要があります。

2. パイロットチームから始める

エンジニア、IT と AI のプラクティショナー、事業部門のリーダーから成るパイロットチームを立ち上げ、AI プロジェクトのタスクを割り当てます。また、継続的学習のカルチャーを促進する社内推進役を置くことも重要です。生成 AI プロジェクトを概念実証から本稼働に移行するには、トップダウンの賛同を得ることが重要です。

3. 内発からの変革を可能にする

パイロットプロジェクトが完了したら、チームを分割し、新しい人材を追加して新しいチームを立ち上げ、新規プロジェクトを割り当てることができます。このプロセスは継続的なもので、知識がベテランのチームメンバーから新人へ、そしてチーム間に有機的に広がるようにします。

このガイダンスに従うことで、多くの組織が、現在抱えている人材が AI スキルのギャップを埋めるのに必要であると気づいています。それでも何人かは新規採用する必要があるかもしれませんが、適切なツール、プロセス、マネジメントの変革への投資により、人材をスキルアップして AI による成功につなげることができます。



Terrascope が AWS を使用した スキルアップにより脱炭素化を 推進している事例

Terrascope は、インテリジェントテクノロジー、脱炭素化に関する豊富な経験、気候科学の専門知識を通じて、企業のグリーンエネルギー変革をサポートするグローバルなエンドツーエンドの脱炭素化ソリューションです。

ビジネスの課題

Terrascope は生成 AI を活用し、顧客がサステナビリティへの取り組みにおいて直面するデータ管理、排出量測定、脱炭素化計画の課題を解決できるよう支援する道を選びました。このテクノロジーから最大限の価値を引き出すことを目指して、Terrascope は [AWS トレーニングと認定](#) のプログラムを通じてチームメンバーの半数以上をスキルアップする契約を AWS と締結しました。

ソリューション

AI テクノロジーや [Amazon SageMaker](#) などの機械学習サービスの複雑さに関連したトレーニングは、Terrascope にとって有益であることが実証されました。Terrascope は、AWS と連携して以来、デプロイ時間を 97% 短縮し、クラウドへの支出を 30% 削減しました。同社はまた、ある顧客が排出量測定を従来のプロセスの 5 倍の速さで実行できるよう支援しました。

「AWS のエキスパートとのコラボレーションにより、AI とクラウド機能に関する知識をチーム間で共有し、機械学習モデルを改良して革新的なソリューションを顧客に提供することが可能になりました」

Terrascope、CTO、Mathavan Arugalaimuthu 氏

[全文を読む](#) →

パイロットプロジェクトから先に進む

お客様は概念実証を成功させて本稼働に移行しようとする過程で、生成 AI のスケール能力を妨げる可能性のある多くの課題に直面します。実際、Gartner は、2025 年末までに生成 AI プロジェクトの少なくとも 30% が、データ品質の低さ、不十分なリスク管理、コスト上昇、不明確なビジネス価値が原因で、概念実証後に放棄されると予測しています。⁵

企業は以下を含むいくつかの重要な課題に直面しています。

- 1. 適切な FM の特定：**FM の選択肢は非常に多いため、企業は特定のユースケースとデータに合ったものを見つけるのに苦労しています。
- 2. パフォーマンスとコストのバランス：**企業は、ビジネスで求められているレベルのパフォーマンスを発揮できる、コスト効率の高い FM を見つける必要があります。
- 3. 急速な進歩への対応：**急速に進化する生成 AI 環境では、企業は最新モデルの改善点と機能を簡単に統合できる柔軟なソリューションを必要としています。
- 4. セキュリティと責任ある AI の確保：**企業は、生成 AI の規模を拡張する中で、データセキュリティ、責任ある AI、モデルの精度と信頼性の維持に関する重大な懸念に対処する必要があります。

Amazon Bedrock は、多くの組織が生成 AI の導入を迅速かつ安全に拡張する原動力となりました。Amazon Bedrock は、最新の高性能 FM を活用し、最先端の AI の技術を単一の API を通じて統合します。Amazon Bedrock の堅牢なオーケストレーションツールは、複雑なワークフローを合理化し、運用効率を高めます。また、サーバーレスアーキテクチャにより、安全、高品質、低レイテンシーでコスト効率の高いデプロイが可能となり、他の AWS サービスとシームレスに統合されます。



Amazon Bedrock を使用してお客様と技術チームができること：

幅広いモデルでのイノベーションの加速

独自のユースケースに最適なモデルを迅速に評価して選択することで、生成 AI アプリケーションが最大の効果を発揮できるようにします。

競争優位性の確立

Amazon Bedrock には強力なツールが用意されているため、高度に差別化された生成 AI アプリケーションを構築し、独自のデータを使用してパーソナライズされたカスタマーエクスペリエンスを提供したり、複雑なワークフローを自動化して効率を高めたり、最高のコストパフォーマンスでスケールしたりできます。

責任ある生成 AI アプリケーションの構築

Amazon Bedrock の堅牢なセキュリティとガバナンス機能により、機密データを保護し、最高水準の信頼とコンプライアンスを維持できます。



Thomson Reuters が Amazon Bedrock を使用して生成 AI を民主化している事例

Thomson Reuters は、信頼できるコンテンツとテクノロジーソリューションのグローバルプロバイダーとして、責任ある生成 AI イノベーションの最前線に立ち続けることに注力していました。しかし、生成 AI にアクセスできるようにし、組織全体での利用を民主化するうえで、課題に直面していました。

ビジネスの課題

主なハードルの 1 つは、さまざまなユースケースに適した LLM と FM のデプロイと管理に関する複雑さでした。Thomson Reuters は、さまざまな業界を対象にした多様な製品を展開しているため、特定の要件に合わせて複数の FM に対応できる柔軟なソリューションを必要としていました。

ソリューション

そこで、最先端の AI スタートアップ企業や Amazon の高性能 FM を選択できる AWS のフルマネージドサービス、Amazon Bedrock の利用を開始しました。Thomson Reuters は、セルフサービスのエンタープライズ生成 AI および 機械学習プラットフォームである Open Arena に Amazon Bedrock を組み込むことで、AI モデルのデプロイ時間を数日から数時間へと短縮し、テストとイノベーションの合理化、生成 AI ツールへのアクセシビリティの向上、ユーザーエクスペリエンスの簡素化を達成できました。Thomson Reuters は、AWS を使用して、安全な生成 AI イノベーションを迅速かつ自信を持って推進できるようになりました。

「急速に進化する分野では、多様化を図り、最新の進歩をいつでも活用できるようにしたいものです。Amazon Bedrock を使用することで、当社は業務に応じて適切なモデルを見つけることができます」

Thomson Reuters、Head of AI & Thomson Reuters Labs、Joel Hron 氏

[全文を読む →](#)

効果を測定する

生成 AI イニシアチブの成否を測定するには、特定のビジネス目標に沿った関連する主要業績評価指標 (KPI) の定義に焦点を当てた、カスタマイズされたアプローチが必要です。

ビジネスステークホルダーと緊密に連携して適切な KPI を事前に特定することで、企業は生成 AI プロジェクトから有意義で目に見える価値を実証できます。

こうした KPI には、次のような指標が含まれる可能性があります。

- AI で生成されたコンテンツと分析の利用を通じた従業員の生産性向上
- AI を活用したパーソナライズされた体験から得られる顧客満足度とカスタマーエンゲージメントの向上
- 複雑なタスクとワークフローの自動化による運用効率の向上
- 生成 AI を活用した新製品や新サービスの市場投入に要する時間の短縮

鍵となるのは、一般的な財務重視の ROI を超えて、生成 AI が組織のビジネスに及ぼす独自の影響を反映した KPI スコアカードをバランス良く定義することです。その結果、提供される実際の価値を追跡して明らかにできるため、生成 AI 機能のさらなる拡張と投資の正当性を証明することが可能となります。





Bayer Crop Science が Amazon Q を使用して従業員の生産性を向上させている事例

多国籍企業 Bayer AG の一部門である [Bayer Crop Science](#) は、生成 AI を生産性向上の起爆剤とみなしています。同社は、何千人ものデータサイエンティストやエンジニアが世界中の農家を対象にした農業ソリューションにイノベーションを起こせるように取り組んでいます。

ビジネスの課題

Bayer Crop Science は、計画から収穫までの農場運営において可能性を最大限に発揮できるよう支援する製品と情報の提供に努めています。現代の農業がますます複雑化する中、Bayer は生成 AI を活用して、生成 AI 搭載製品を顧客に提供し、データサイエンティストが農場経営の効率を高める革新的なソリューションをより迅速に開発できるように力を尽くしています。

ソリューション

Bayer Crop Science 部門は、AWS の生成 AI を活用してソフトウェア開発を変革しながら従業員の生産性を向上させています。[Amazon SageMaker Studio](#) を導入したことで、さまざまなユースケース向けの機械学習モデルを迅速に構築、デプロイ、トレーニングして、データソリューションをいち早く市場に投入できるようになりました。また、[Amazon Bedrock](#) を使用して、複雑で高度にオーケストレーションされたワークロードのサポート負担を軽減する生成 AI 機能を強化しています。障害が発生しても、Amazon Bedrock のおかげで、これまでよりも少ないエンジニアリングサポートで問題を診断できます。Bayer Crop Science 部門は、差別化された価値を提供する業務に注力できるように、プラットフォームビルダーを支援することの重要性を認識しています。[Amazon Q Business](#) を導入して、デベロッパーがより効率的にドキュメントを作成し、運用情報にアクセスできるようになり、オンボーディング時間を最大 70% 短縮できました。また、[Amazon Q Developer](#) によってコーディングタスクを自動化し、開発者の生産性を最大 30% 改善しています。

「AWS が開発しているテクノロジーは、人口増加に向けて当社が食料と燃料の生産能力を促進、向上させるのに役立っています。当社は、未来に向けて生成 AI の活用を迅速に進めることに重点的に取り組むようになりました」

Bayer Crop Science、VP、Head of Crop Science Data Assets & Analytics、Will McQueen 氏

[全文を読む](#) →

生成 AI における最大の課題の解決

ほとんどの組織は、生成 AI の可能性を探ったことがあるでしょう。しかし多くの組織は導入を進めるうちに、コストと複雑さがあまりに増大するのではという心配に駆られ、途中で壁にぶつかってしまいがちです。

この eBook を通じて、生成 AI の力を最大限に引き出し、前に進むためのステップを詳しく見てきました。まとめとして、本書の中で挙げた最大の課題と、それを解決するための推奨事項の要約を見てみましょう。

AWS 生成 AI リソースハブでは、導入の障壁を乗り越え、生成 AI の導入を加速するための資料をご用意しています。

[詳細はこちら →](#)

課題	ソリューション
失敗によるモチベーション低下	フォールトトレラントなカルチャーの醸成
データ品質	データレイクを含む最新のデータ戦略の策定
適切なビジネスの問題の発見	技術と分野の両方のエキスパートを入れた混合チームの編成
生成 AI のスキルギャップ	新しい組織モデル、プロセス、チーム管理哲学の採用
パイロットプロジェクトのその先へと持続的にスケールアップ	Amazon Bedrock などのフルマネージドサービスを利用して高性能モデルにアクセスし、生成 AI アプリケーションを迅速に構築およびスケール
効果測定	従来の ROI を廃止し、俊敏性と競争優位性を優先

AWS と共に次の一步を 踏み出す

生成 AI は、継続的なイノベーション、優れたカスタマーエクスペリエンス、持続的成長の機会を組織に提供することで、ビジネスの未来を変革しています。

AWS の安全で柔軟でスケーラブルな AI サービスを利用している数千社のお客様と同様に、仕事の進め方を再定義しましょう。AWS は、生成 AI によるイノベーションを支援するためにスタックのあらゆる層において最も包括的な機能セットを提供しています。これには、大規模な機械学習モデルのトレーニングと実行に適した最もパフォーマンスとコスト効率の高いインフラストラクチャ、LLM とその他の FM を使用して生成 AI アプリケーションを構築する最も簡単な方法、仕事の進め方を変革するのに役立つ最も有能な生成 AI 搭載アシスタントなどが含まれます。さらに、すべての生成 AI サービスには、エンタープライズグレードのセキュリティとプライバシーが組み込まれており、安心してご利用いただけます。

AWS 生成 AI イノベーションセンター

AWS 生成 AI イノベーションセンターは、生成 AI ジャーニー全体にわたる包括的な専門知識を備えた AWS の科学および戦略のエキスパートとお客様を結びつけます。このプログラムは、お客様がビジネス目標、ユースケース、運用上の課題に沿った戦略かつ包括的なアプローチを構築するのに役立ちます。

今すぐ始めましょう →



© 2025, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.
記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。
本資料に記載の内容は本資料作成時点の情報であり、変更の可能性があります。最新の情報は aws.amazon.com よりご確認ください。

